



THE COMMISSION FOR THE SOLIDARITY WITH THE ASIAN UNDERPRIVILEGED
〒105-0014 東京都港区芝2-20-12 友愛会館 14階 Tel. 03-3769-4177 Fax. 03-3769-4178 E-mail: info@ngo-csa.jp HP: www.ngo-csa.jp

アジア連帯委員会

レポート

第65号

2026年1月

2026年アジア連帯委員会（CSA）年頭のご挨拶

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は、アジア連帯委員会（以下、CSA）の活動にご理解とご協力を賜りましたこと、心より御礼申し上げます。とりわけ、長年にわたり物心両面でご支援いただいております連合、支援者団体、個人支援者の皆様には、深く感謝申し上げます。



会長 坂本 彰

昨年も世界各地で、紛争や気候変動に伴う自然災害、飢餓、貧困など多くの課題が山積した1年となりました。私たち国際NGO団体の役割は、このような課題に直面する人々に寄り添い、その幸せを追求することであり、継続した取り組みが求められます。

CSAは、設立の経緯や事務局体制、財政状況等から、限られた地域・国での活動となっていますが、皆様のご理解のもと、貴重な浄財を有効に活用しながら、支援する地域・国への貢献に努めています。一方、財政面では、金融市場等の影響による円安傾向から、国際支援にとって厳しい状況が続き、活動の維持のために支援の輪を広げていくことが課題となっています。

このような状況をふまえ、昨年9月25日に開催した第45回定期総会で確認された事業計画にもとづき、活動を進めています。事業計画の基本的な視点は、インドシナ半島諸国（特にラオス）への支援活動を主軸に、その国の発展に寄与する教育環境の整備・充実をはかること、SDGsも意識しながら効果的に事業を展開していくこととしています。

具体的には、以下のとおり、ラオスを中心に「救援物資事業」「小学校建設・補修事業」「教育支援事業」に注力しています。なお、これら事業の視察・点検・情報収集等を目的として、1月下旬に総勢11名でワーキング・スタディ・ツアーミーを実施する予定です。

1. 救援物資事業

36年間継続してきた「救援衣類を送る運動」に代わる取り組みとして、一昨年より現地で必要な物資の寄贈を行っています。今後も、ワーキング・スタディ・ツアーミーなどの現地訪問時に、CSAが建設したラオスの小学校に対し、ハンドソープと水筒を寄贈していきます。

また、現地コーディネーター等と連携してニーズの把握を行い、事業の充実に向けて検討を進めます。

2. 小学校建設・補修事業

ラオスで義務教育を受けられない子供がいる状況を改善するため、1995年以降、26の学校を寄贈し、補修事業も進めています。

直近では、2024年11月に寄贈したCSA第26番目校ハッパン村小学校を訪問し、1年点検を実施しました。また、昨年5月に訪問して修繕箇所を確認した13番目校コアティヌン村小学校について、補修を実施する予定です。

その他の学校も老朽化が進んでいますが、現地からの要望を確認し、優先順位をつけ、対応していきます。

3. 教育支援事業

2002年に、ラオスで屈指の優秀校であるルアンプラバーン県サンティパープ高校に寮を建設・寄贈し、貧困により進学を断念せざるを得ない学生への学業と生活の支援を続けています。卒寮生のほぼ全員が進学し、一部は国費留学生として日本で学ぶなど、将来の国を担うリーダーとして活躍しています。

今後も、この支援を継続するとともに、ラオス関係省庁や学校関係者に対し、寮の自主的運営を働きかけるなど、新たな教育支援を検討していきます。

これら3つの事業を中心に取り組んでいきますが、活動を支える財源は、連合愛のカンパや会員皆様からのカンパに支えられています。今後も、連合および支援団体、個人支援者との連携を深めるとともに、繰り返しになりますが、支援の輪を広げて事業の維持・発展に努めていかなければなりません。

また、昨年、日本とラオスは国交樹立70周年を迎えました。CSAは、1981年の発足以来40年以上にわたり、ラオスの人々の幸せを願って支援活動を続けてきました。今後も両国の友好関係の一助となるべく努力してまいります。

そのためにも、活動の周知に注力するとともに、必要に応じて事業の見直しを行い、より効果的な事業展開をめざしていきます。引き続きのご理解とご協力をお願い申し上げます。

最後になりましたが、皆様のご健勝とご多幸、そして世界のすべての人々の幸せを心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。本年もよろしくお願ひ申し上げます。

アジア連帯委員会 (CSA) 会長 坂本 彰

2025年9月から2026年9月の活動計画について

(第45回定期総会報告・議案書より)

事務局長 砂長 勉

1. 救援物資事業について

(1) 物資の選定

CSAラオスコーディネーターや国際労働財団(JILA F)、難民を助ける会(AAR)等と連携し、現地で必要な物資を選定し、C

SAが寄贈した小学校や貧困な地域へ寄贈していきます。

当面は、ハンドソープと水筒（低学年を中心に）を寄贈していきます。



ハンドソープと水筒を寄贈



水筒を受け取った子供たち

2. 小学校建設・補修事業について

(1)第26番目校の建設後1年点検

団体会員であるUAゼンセンの支援に基づき、CSA第26番目校を2024年11月に建設・寄贈・引き渡しが完了しました。現在は、250名近い児童が建設された学校で勉強をしています。

2025年11月に引き渡し後の1年点検を寄贈したUAゼンセンと現地へ赴き、修繕必要箇所の確認を行い引き続き支援をしていきます。

(2)既存校の補修

建設された26校の小学校の多くは老朽化によって補修が必要な状況となっています。優先順位と必要性を確認した上で補修を行います。

(3)小学校寄贈団体会員（産別・単組）との連携強化

CSAがラオスに手掛けた26の小学校のうち8校は支援組織の寄贈校です。継続的に支援団体会員へ補修の提案や協力要請を適時行います。



1年点検で修繕箇所の確認

3. 教育支援事業について

(1)2025年度のサンティパープ高校生寮支援予定額

サンティパープ高校生寮支援金額は、年間総額約\$37,550 (¥6,008,000: 為替レート@¥150/\$で計算)。寮生一人当たり年間約\$417.2 (¥66,752)。

食費 (\$32.5×90名×10ヶ月)、人件費 (寮を運営している先生)、学用品・寝具・食品・医療費、帰省旅費、卒寮関係費を含んでいます。

(2)寮の運営に関する支援

①サンティパープ高校の校長先生や寮監と訪問時に意見交換を行い、寮運営支援を継続します。

②CSAラオスコーディネーター（当校第1期卒寮生）と隨時情報共有し、現状把握に努めます。

(3)寮運営継続支援と自主運営への取り組み

寮の運営支援を継続する一方で、ラオスの関係省庁や学校関係者等と話し合いをし、段階的・計画的に自主的運営を進めます。

(4)寮の老朽化による補修工事の取り組み

2002年の建設から23年が経過し、都度老朽化に対応した工事を実施しています。今後も必要に応じて対策と補修工事の実施を進めています。



サンティパープ高校生寮訪問



成績優秀寮生を表彰

4. 募金活動について

事業の継続と充実に向けて、それぞれの事業ごとに下記の募金活動を行います。

(1)救援物資募金

保健面、衛生面等で必要な物資の調達に使用します。当面は、ハンドソープ、水筒を救援物資としますが、詳細については、現地コーディネーターと連携して対応します。

(2)小学校建設・補修募金

小学校建設、既存校舎の補修整備に使用します。

(3)教育支援募金

サンティパープ高校生寮の運営・支援と小学校への教育機材の調達に使用します。

(4)その他の募金

取り組む事業に応じて別途募金活動を行い、その事業の支援に使用します。

5. 2026年ワーキング・スタディ・ツアーワーの実施について

事業活動の点検、訪問先の人々との交流を通して相互理解を深め、友好親善の輪を広げることを目的にワーキング・スタディ・ツアーワー(WST)を実施します。

2026年1月に実施を予定し、ラオス・タイ両国日本国大使館や連携NGOを公式訪問、また建設した小学校へ救援物資を届け、児童との交流を図ります。

実施時期: 2026年1月24日(土)~31日(土)

訪問先: ラオス/教育・スポーツ本省、県教育・スポーツ局、CSA寄贈小学校、サンティパープ高校寮、AAR、在ラオス日本国大使館
タイ/JILA Fバンコク事務所、在タイ日本国大使館

参加者: 8組織11名



2025WST 県スポーツ教育局訪問



2025WST 寄贈小学校訪問



2025WST 在ラオス日本国大使館

6. C S Aの活動強化に向けて

(1) 団体会員や個人会員の拡大

- ①団体会員や個人会員の着実な増加を目指し、既存会員と連携した行動を積極的に行います。
- ②団体会員の労働組合や団体本部、本社事務所を訪問し、C S Aの活動報告や意見交換を計画的に実施します。
- ③団体会員の機関会議や各種会議で「アジア連帯委員会の活動」の説明機会を増やし、C S A諸事業について理解を広める取り組みを行います。

(2) 広報・宣伝活動の強化

- ①ホームページ、S N Sの充実と周知
- ②「C S Aレポート」の作成
- ③リーフレットの活用

(3) 団体会員への積極的事業報告・情報共有活動

C S A事業の説明や情報共有を目的とし、事務局は団体会員の諸会議等に機動的・積極的に対応します。

(4) 連合との連帯強化

- ①連合メーデー中央大会への出展
- ②連合「愛のカンパ」
- ③連合構成組織への対応

(5) 日本定住者団体等との交流

(6) 外務省、国際労働財団、N G O・N P O団体等との情報交換・連携強化

(7) 駐日・在ラオス、駐日・在タイ大使館との連携構築との支援の拡大

以上

本年もよろしくお願い致します 役員一同

会長	坂本 彰	アジア連帯委員会
副会長	内藤 靖博	連合 副事務局長
副会長	山崎 高明	アジア連帯委員会
事務局長	砂長 勉	アジア連帯委員会
常任理事	杉山 寿英	連合 連帯活動局長
〃	田中 智	U A ゼンセン 運動推進局長
〃	八巻 由美	自治労 総合企画総務局長
〃	秋元 成	電機連合 事務局次長
〃	丸山 さつき	J A M 組織グループ グループ長
〃	伏見 隆太郎	基幹労連 事務局次長
〃	寺澤 環	日教組 国際部長
〃	青木 哲彦	情報労連 運動推進局長
〃	服部 和也	連合東京 副事務局長
監事（会計監査）	斗内 利夫	U A ゼンセン 副書記長
〃	西谷 涼子	自動車総連 国際局局長

2026年主要事業・会議

1月 24 日～31 日 ワーキング・スタディ・ツアーハウス

3月 25 日 第 59 回常任理事会、第 29 回評議員会

4月 29 日 連合第 97 回中央メーデー大会出展

8月 26 日 第 60 回常任理事会

9月 30 日 第 61 回常任理事会、第 46 回定期総会

募金者名・募金額の報告

期間：2024年12月1日～2025年11月30日

(順不同)

《救援物資募金》

〈団体名〉

I H I 労連様 三菱自動車工業労組様 J A M 横浜支部様
J A M 横浜支部様 I H I 労連堺支部様
全国ガス労連様 日産労連様
TOPPANグループ労連様 ニックルワートレインシステムズ労組様
ユニプレス労組様 ヒューカルエナシシヤハノ労組様

団体合計 ￥982,342

〈個人名〉

河瀬義則様 北野眞一様 銅坂雅子様 鈴木隆明様
中原澤信之様 杉山寿英様 坂本彰子様 山崎高明様
砂長勉様

個人合計 ￥53,000

救援物資募金 合計 ￥1,035,342

《小学校建設・補修募金》

〈団体名〉

U A ゼンセン様 三菱自動車工業労組様 J P 労組東京様
J A M 横浜支部様 キャタピラー日本労組様
基幹労連様 岡山県貨物運送労組様
サンデン交通労組様 ユニプレス労組様
三八五労組様 ヒューカルエナシシヤハノ労組様
ニックルワートレインシステムズ労組様

団体合計 ￥7,717,917

〈個人名〉

土屋菜穂子様 北野眞一様 鈴木義隆様 村横義光様
田口敬子様 中澤重信様 河瀬雅高様 山田井義泰様
山岡みゆき様 万坂家重様 銅山雅高様 井義武様
杉山寿英様 本明彰様 崎高様 井義長様

個人合計 ￥87,000

小学校建設・補修募金 合計 ￥7,804,917

《教育支援募金》

〈団体名〉

U A ゼンセン 様
J A M 様
日産労組 横浜支部 様
日産労組 本社支部 様

基幹労連 様
印刷労連 様
ユニプレス労組 様

住友重機械労連 様
ヒークルエナジージャパン労組 様
ニッカワトレインシステムズ労組 様

団体合計 ¥845,796

〈個人名〉

相馬 末一 様
北野 真一 様
鈴木 隆 様
杉山 寿英 様

田萬 口敬 様
家藤 重正 様
佐坂 行彰 様

澤信 之 様
中熊 谷由 様
有山 村利 様
木崎 高 様

土屋 菜穂子 様
有村 利範 様
銅砂 雅子 様
砂長 勉 様

個人合計 ¥147,853

教育支援募金 合計 ¥993,649

募金総合計

¥9,833,908

ホームページとSNS紹介



HP



X(旧Twitter)



Facebook

リニューアルしたホームページと昨年より新設したFacebookとX（旧Twitter）にアクセス・友だち登録をお願いします。『心もSNSもCSAとつながりませんか』

下記会員の皆様にも、年会費としてご支援いただきました。

期間：2024年12月1日～2025年11月30日

(順不同)

〈団体名〉

団体合計 ¥2,900,000

〈個人名〉

則彦一子之秋み徳平隆一男
義雅末由美信美ぐ孝鉄真正
瀬野馬谷澤田長林田川住
河吉相熊中福砂小藤鈴黒吉
様様様様様様様様様様様
光文行弘郎彦乃敏人彦惠朗勉
義泰正清太梅晴雪勝昭文
山田藤野岸嶋野浦川長崎
村横佐水根昉寺保森松石谷砂
様様様様様様様様様様様
子き一子徹範子枝靖信幸英明
渥み眞敬利穂浩正宏寿高
江岡野口島菜良村附山崎
堀山北田中有土黒奈西岩杉山
様様様様様様様様様様様
彦志明己雄一郎子也み宏義彰
扶正重克紀浩治哲ゆ貴武
磯原家井宮鳴澤山川丸井本
大菅萬筒間矢西銅浅下雪永坂

個人合計 ￥198,000

会費合計 ￥3,098,000

募金・会費総合計

¥12,931,908



NGO団体

アジア連帶委員会(CSA)

〒105-0014 東京都港区芝2-20-12 友愛会館14階

TEI 03 (3769) 4177 FAX 03 (3769) 4178

E-mail: info@ngo-csa.jp HP: www.ngo-csa.jp